

4月のできごと

利用者ら笑顔に

3月22日、デイサービスセンターサックルでボランティア活動を行う追分カーネーションによる演芸会が行われました。

演芸会では、舞踊や音楽、歌など10を超える演目を披露。施設の利用者からは時折、拍手が沸くなどし会場は楽しい雰囲気。会の最後は、皆さん輪になり一緒に踊り楽しいひと時を過ごしました



立て続けに2団体設立

3月30日に追分第3町内会、4月13日に追分第2町内会に対し、瀧町長から各町内会長に自主防災組織認定書が手渡されました。

今回の2団体で町内17団体の自主防災組織の誕生。地域防災への意識が町内全体に広まってきています。



新たなシンボル始動

役場旧追分庁舎を改修し開設された、追分地区児童福祉複合施設の落成式が4月1日行われ、関係者約80名が出席。認定こども園のおいわけ子ども園、子育て支援センター、児童館の機能を有する追分地区の新たなシンボルの門出を祝いました。

式では、おいわけ子ども園山城義真園長が「子どもたちにとって楽しい施設となり、地域の方々から親しまれる施設にしたい」と話されました。



今年も町内を綺麗に

4月14日、早来自衛隊曹友会の皆さんによるごみ拾いボランティアが今年も行われ、会員約20名が参加しました。

あかね団地周辺から始まり国道234号線沿いを清掃。約2時間の活動で30リットルのごみ袋が10袋になるほどのごみが集まり、沿道に落ちていた空き缶やペットボトルなどが無くなり綺麗な姿となりました。

作業を行った会員の皆さん、お疲れさまでした。



安平の地から各地へ

4月17日、2月に安平町と賃貸契約を結び、旧富岡小学校を活用し事業を行うこととなった有有限会社国崎青果（井上一也社長）の北海道物流センター建設地鎮祭が旧富岡小学校校庭で行われました。

物流センターの建設工事は、平成29年9月の完成を目指し進められていき、同年10月の操業開始を予定。操業後は、安平町周辺の農家で生産された農産物の集荷・出荷の拠点となります。

